

仲間とともに、一步成長した野外活動(5年生)

6月9日(火)、10日(水)の2日間、5年生は松山市野外活動センター(レインボーハイランド)に行きました。自然に囲まれた環境の中で、普段の学校生活では味わえない体験を通して、友達と協力することや、自分で考えて行動することの大切さを改めて学ぶことができました。

野外炊飯では、グループごとに役割を分担し、カレー作りに挑戦しました。火起こしや野菜を切る作業、鍋洗いなどでは思うように進まない場面もありました。それでも、声を掛け合い、助け合いながら取り組む姿が多く見られました。キャンプファイヤーでは、燃え上がる炎を囲みながら歌やゲームを楽しみました。みんなで笑い合い、心をつなげて過ごした時間は、仲間との絆をさらに深める特別なひとときとなりました。

この2日間で得た「協力することの大切さ」や「最後までやり抜く力」を、これからの学校生活でも発揮してくれることを期待しています。保護者の皆様には、事前の準備や体調管理など御協力をいただき、本当にありがとうございました。

(5年学年主任 笠松 美和)



ぐんぐん成長 1年生

1年生が入学してから3か月が経ちました。1年生は、チャイムの合図で行動する小学校の生活にもすっかり慣れてきました。給食当番や日直の仕事も覚え、張り切って仕事をしています。

「1年生を迎える会」では、体育館でみんなにお祝いしてもらい、うれしい時間を過ごしました。招待状や冠、メダルをもらったり、楽しいクイズやじゃんけんに参加したりして、大喜び。笑顔が絶えませんでした。



生活科の「学校探検」では、2年生に案内してもらった後、1年生だけで校内を探検しました。



その後、「先生探検」と称して、いろいろな先生と話して、グループでサインをもらいに出掛けました。「失礼します。」と緊張気味の表情で話し掛けていましたが、サインをもらった後は、うれしさを隠せず、弾むようにみんなと歩いている姿がたくさん見られました。すっかり夏らしくなった最近、砂遊びや水鉄砲、シャボン玉と夏を楽しむ活動をしています。新しいことに挑戦して「人・もの・こと」に触れながら、ぐんぐん成長している1年生。2学期の成長も楽しみです。

(1年学年主任 高内 美幸)



人権・同和教育



先月の人権・同和教育参観日には、多数参観していただき、ありがとうございました。たくさんの保護者の皆様に見守られ、子供たちは少し緊張しながらも、真剣に「人権」について考えていました。また、授業参観だけでなく、人権標語の作成にも多くの保護者の方に御協力いただき、本当にありがとうございました。

人権教育や同和教育において最も大切なのは、「正しい知識を持つこと」と「自分のこととして捉える感性を磨くこと」です。知識が不足していると、悪気のない一言が誰かを深く傷つけたり、偏見を広げたりすることにつながってしまいます。ぜひ、この機会に御家庭でも「今日の授業、どんなお話だった?」「〇〇ちゃんならどう思う?」と、お子様に問い掛けてみてください。正解を出すことよりも、親子で一緒に考え、話し合うその時間自体が、子供の人権意識を育てる何よりの肥やしになります。

本校では、「人権を尊重し、認め合い、支え合う中で一人一人の自己実現を目指す学級・学校づくり」を人権・同和教育の目標として、教科の学習だけでなく、日々の生活の中で、様々な人権問題について正しく理解する力と感じ気付く心、問題解決に向けて努力する意欲や技能、態度を育てることを目指しています。学校と家庭が同じ方向を向き、一人一人が大切にされる温かい地域社会を共につくっていきましょう。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

(人権・同和教育主任 上野 あゆみ)



6月俳句の里賞



2年生	かたつむり夏がきたかとかべのぼり
3年生	前がみをバツサリ切った夏の月
4年生	今出ヶ浜ビー玉ねらい飲むラムネ
5年生	あじさいが雨に打たれて滝修行
6年生	試合終え涙をぬぐう夏の雨

本校では、朝の時間に俳句朝会を行い、季節を感じながら俳句づくりに取り組んでいます。子供たちは、五・七・五の言葉に思いや発見を込め、一人一人が感性あふれる俳句をつくりました。また、鑑賞会を行い、友達の作品を味わい、それぞれの表現の良さにも気付いています。夏休みも、すてきな俳句が生まれるのを楽しみにしています。

(国語主任 平畠 未菜)



垣生小学校ホームページ
も御覧ください。⇒

